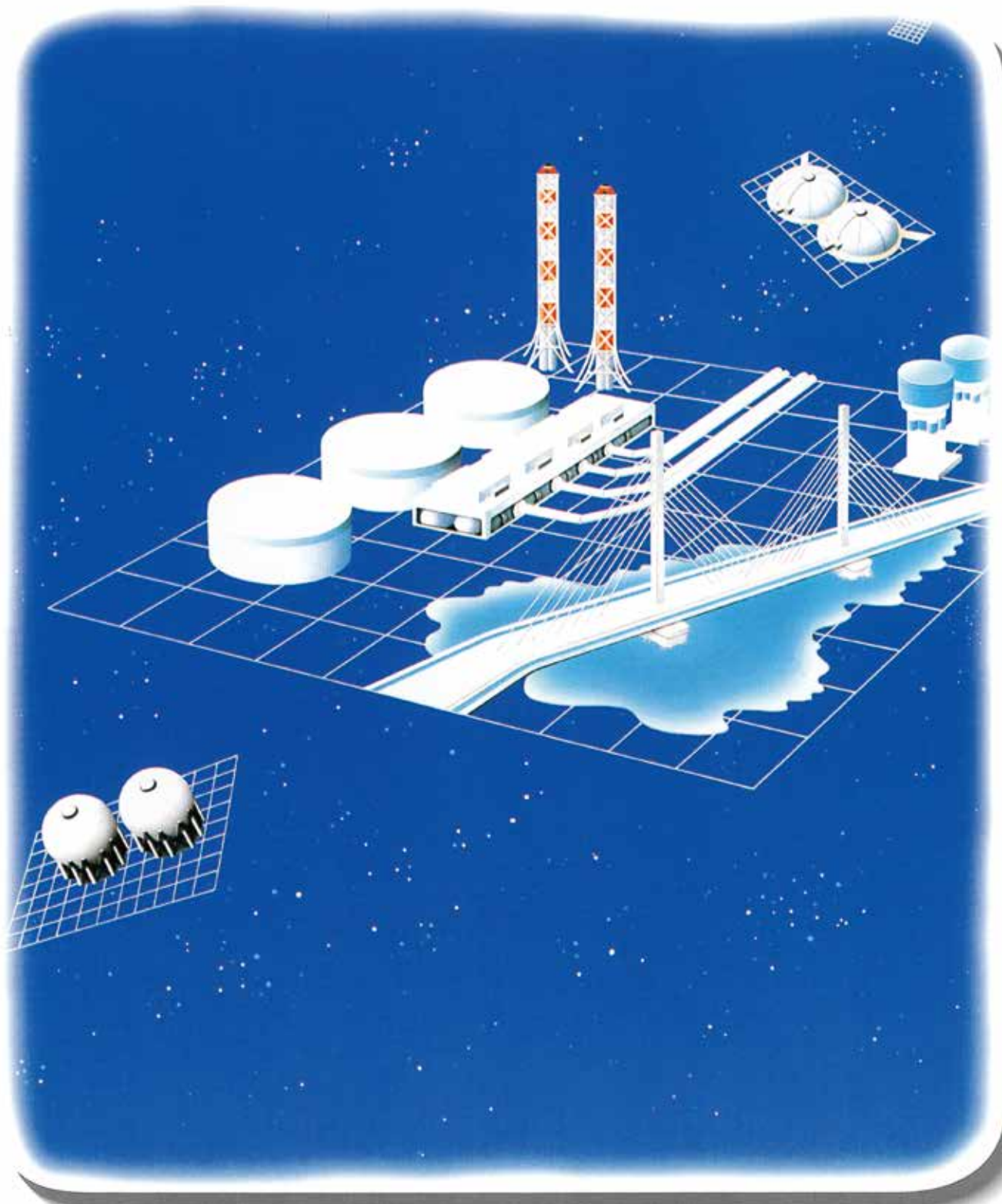


ルイポニ30

システム

ガソリン、ジェット燃料のタンク内面など、
過酷な腐食条件下での塗料として実力発揮。



特長

- 浸せき条件で優れた防食性能を発揮します。
 - 酸・アルカリなどの耐薬品性
 - 原油・重油・灯油・ナフサなどの耐油性
- 厚塗り塗装が可能です。
エアレス塗装により80～100μm/回の膜厚で重防食塗装が可能です。
- 塗膜が強く、耐摩耗性が優れています。

用途

- 油タンク内面(原油・重油、灯油、ナフサ、ガソリンなど)。
- 薬品タンク内面(酸、アルカリ、塩水など)。
- 化学プラントの重防食仕上げ。

塗膜性能

ハイポン30システムA、Bによる。

①耐油・耐溶剤・耐水

浸せき液	温度	浸せき結果
原 油	60℃	12カ月異常なし
重 油	60℃	12カ月異常なし
軽 油	20℃	12カ月異常なし
灯 油	20℃	12カ月異常なし
ガソリン	20℃	12カ月異常なし
1号ナフサ	20℃	12カ月異常なし
J P - 4	20℃	12カ月異常なし
キシレン	20℃	12カ月異常なし
エチレングリコール	20℃	12カ月異常なし
※純 水	20℃	12カ月異常なし

※純水タンクなどの水タンクには専用塗料がありますので別途ご相談ください。



〈好ましくない用途〉

- タンク内容物が60℃より高温に加温される場合。
- 上塗りの耐候性が要求される場合。
(ハイポン50システムを採用してください。)
- 常時130℃以上の熱がかかる個所。
(テツゾール仕様を採用してください。)

②耐薬品

浸せき液	濃度	温度	浸せき結果
H ₂ SO ₄ (硫酸)	5%	20℃	6カ月異常なし
	20%	20℃	6カ月異常なし
HCL (塩 酸)	5%	20℃	6カ月異常なし
	20%	20℃	6カ月異常なし
NaOH (苛性ソーダ)	5%	20℃	6カ月異常なし
	20%	20℃	6カ月異常なし
NaCl (塩化ナトリウム)	3%	20℃	12カ月異常なし
	3%	40℃	12カ月異常なし

③塩水噴霧試験

塩水噴霧試験	JIS K 5600-7-1による	1000時間異常なし
--------	-------------------	------------

(注) ○上記試験の試験板は、サンドブラスト板にハイポン30マスチックプライマー80μm×2回+ハイポン30上塗HB100μm×1回の膜厚で実施。

○試験板は塗装後23℃×7日間乾燥後のものを使用。

使用方法

項 目	商品名	ハイポン30 マスチックプライマー		ハイポン30上塗 HB		
混合比(重量):塗料液/硬化剤		85/15		85/15		
ポットライフ(23℃)		8時間		5時間		
専用シンナー		ハイポンエポキシシンナー		ハイポンエポキシシンナー		
塗装方法		エアレススプレー	はけ・ローラー	エアレススプレー	はけ・ローラー	
希釈率(%)		0～10	0～5	0～10	0～5	
使用量(kg/m ² /回)		0.39	0.21	0.43	0.20	
ウエット膜厚(μm)		190	120	225	125	
ドライ膜厚(μm)		80	50	100	50	
エアレス条件 二次圧(MPa)		12以上		12以上		
チップ No.		163-617,619など		163-617,619など		
		5℃	23℃	30℃	5℃	23℃
指触乾燥		2時間	1時間	30分	2時間	1時間
半硬化乾燥		7時間	3時間	1時間	24時間	12時間
塗り重ね乾燥		24時間以上 10日以内	16時間以上 10日以内	16時間以上 7日以内	48時間以上 10日以内	24時間以上 7日以内
ホルムアルデヒド放散等級		F☆☆☆☆		F☆☆☆☆		

(注) ポットライフを過ぎて使用すると、十分な性能を発揮しませんので小面積に塗付する場合は、その都度小出しで計量混合してお使いください。

基本塗装システム例

1. ハイポン30システムA 用途:油タンク内面(軽油、灯油、ナフサ、LPG)、プラントの重防食仕様

工 程		塗 料 名	使用量 (kg/m ² /回) (エアレス)	目標膜厚 (μm/回)	シンナー名 (希釈率%)	塗り重ね塗装間隔 (23℃)
現 場	素 地 調 整	ブラスト処理:ISO Sa2 ¹ / ₂ まで除錆する。……………1種ケレン				4時間以内
	ブ ラ イ マ ー	ニッペジンキー8000 メタルグレー	0.20	15	ニッペジンキー8500シンナー (5～15)	16時間～6カ月
	下 塗 り (1)	ハイポン30 マスチックプライマー	0.39	80	ハイポンエポキシシンナー (0～10)	16時間～10日
	下 塗 り (2)	ハイポン30 マスチックプライマー	0.39	80	同 (0～10) 上	16時間～10日
	上 塗 り	ハイポン30上塗HB	0.43	100	同 (0～10) 上	

・ショッププライマーはニッペジンキー1000P(無機ジंकリッチプライマー)も使用できます。
・ニッペジンキー8000メタルグレーおよびニッペジンキー1000Pにつきましては、別途「ニッペジンキー」カタログをご参照ください。

2. ハイポン30システムB 用途:タンク内面(JP-4)、薬品が飛散し、耐薬品性が要求されるプラント

工 程		塗 料 名	使用量 (kg/m ² /回) (エアレス)	目標膜厚 (μm/回)	シンナー名 (希釈率%)	塗り重ね塗装間隔 (23℃)
現 場	素 地 調 整	ブラスト処理:ISO Sa2 ¹ / ₂ まで除錆する。……………1種ケレン				4時間以内
	下 塗 り (1)	ハイポン30 マスチックプライマー	0.20	40	ハイポンエポキシシンナー (0～10)	16時間～10日
	下 塗 り (2)	ハイポン30 マスチックプライマー	0.39	80	同 (0～10) 上	16時間～10日
	上 塗 り (1)	ハイポン30上塗HB	0.43	100	同 (0～10) 上	24時間～7日
	上 塗 り (2)	ハイポン30上塗HB	0.43	100	同 (0～10) 上	

・はけ・ローラーでも塗装可能です

※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

使用上の注意事項

- (1) エポキシ樹脂塗料は、塗装後短期間のうちに雨水や結露あるいは高湿度など、水分の影響を受けると白化現象を起こします。このような白化面にそのまま塗り重ねると層間の密着性が悪くなり、はく離するおそれがあります。このような場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した表層を除去した後、塗装してください。また、これらの塗料の乾燥時間は低温になると著しく遅くなり、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずるおそれがありますので、5℃以下の気温が連続する場合施工しないでください。
- (2) プラスト後、鉄粉や砂じんはバキュームクリーナーなどで完全に除去してから塗装してください。
- (3) 塗装完了後は、少なくとも23℃標準で7日以上（反応硬化期間）をとってください。未反応の状態では内容物を入れると著しい塗膜劣化を起こすことがあります。
- (4) 内面塗装の場合には、一旦施工されると塗り替え・手直しなどの補修が難しく、また、不完全な施工により内容物の汚染などの問題が生じたりします。このため、最初の施工時にできるだけ完全な塗装を行うことが必要です。素地調整は現場プラストにて行ってください。
- (5) 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- (6) 密閉場所では換気を十分に行い、溶剤許容濃度以下で作業してください。乾燥中も換気してください。
- (7) 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。

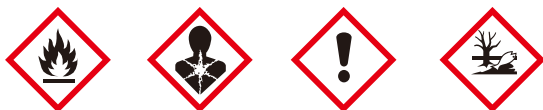
安全衛生上の注意事項（ハイポン30上塗HBホワイト 塗料液）

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。
一禁煙です。
4. 容器を密閉してください。
5. 容器および受器を接地してください。
6. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
7. 火花を発生しない工具を使用してください。
8. 粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
9. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
10. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
11. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
12. 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
13. 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
14. 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
口をすすいでください。
15. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
16. 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
17. 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
18. 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
19. 取り扱った後、手を洗ってください。
20. 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
21. 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/
取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
22. 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
23. 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
24. 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
25. 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
26. 水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。
27. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
28. 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
29. 直射日光や水濡れは厳禁です。
30. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
31. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
32. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。
(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
33. 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
34. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
35. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
36. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
☐ 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
☐ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気/吸入すると有害/皮膚刺激/強い眼刺激/
 遺伝子疾患のおそれ/発がんのおそれ/生殖能力または胎児への
 悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復
 暴露による臓器の障害/水生生物に毒性/長期的影響により水生生物に毒性

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright2020 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6712	中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960	

● 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-Y029

TY200603T

2020年6月現在